

横田基地日米友好祭における展示（自由降下及び空挺降下）について（要請）

令和6年5月15日、北関東防衛局から、5月18日（土）及び19日（日）に開催される「横田基地日米友好祭」に、米軍及び陸上自衛隊が参加し、米空軍機C-130Jから自由降下及び空挺降下の展示を行うこと並びに5月16日（木）には予行を実施するとの情報提供があった。

このことに関しては、過去に人員降下訓練中、パラシュート落下事故等が複数回発生し、周辺住民の不安の増大が懸念される。また、横田基地は人口が密集した市街地に所在しており、周辺住民は日頃から、航空機の騒音に悩まされ続けている。

については、周辺住民の平穏な生活及び安全を確保する観点から、次のことを要請する。
(※)

- 1 自由降下及び空挺降下の展示並びに予行の実施については、徹底した安全対策の上、最小限の範囲とすること。
- 2 航空機の曲技飛行とも見てとれる危険な飛行行為を行わないようにするとともに、航空機騒音を最小限に止めること。
- 3 横田基地での自衛隊による航空機の飛行展示や訓練が常態化することのないようにすること。
- 4 予行の実施については、直前の情報提供であり、周辺住民への周知が十分に行えないことから、改めて、情報の早期提供を徹底するとともに、可能な限り詳細な情報を提供すること。

※ 陸上自衛隊に対しては「については、自由降下及び空挺降下の展示の概要について、防衛省・自衛隊として公表し、また、基地周辺自治体に情報提供を行うとともに、周辺住民の平穏な生活及び安全を確保する観点から、次のことを要請する。」と要請。

北関東防衛局に対しては「については、自由降下及び空挺降下の展示の概要について、防衛省・自衛隊として公表し、また、基地周辺自治体に情報提供を行うとともに、周辺住民の平穏な生活及び安全を確保する観点から、次のことを、貴職から陸上自衛隊に周知するとともに、米軍に申し入れるよう要請する。」と要請。

令和6年5月15日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

アンドリュー L. ラダン大佐 殿

陸上自衛隊陸上総隊第1空挺団長兼習志野駐屯地司令

陸将補 若松 純也 殿

北関東防衛局長 二又知彦 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長	酒井	大史
昭島市長	白井	伸介
福生市長	加藤	育男
武蔵村山市長	山崎	泰大
羽村市長	橋本	弘山
瑞穂町長	杉浦	裕之

幹事	福生市長	加藤	育男
----	------	----	----